

Japanese Utility Model Application No. 60-105324

Filing Date : July 18, 1985

Inventor : Hachiro OKUBO

Applicant: Kinki Insatsu Kabushiki Kaisha

## UNSEALED AND RE-LOCKING DEVICE OF HINGE-TYPE OPENING CONTAINER

In a sealed-type hexahedron outer box (1) of the present invention, a back surface board (2) is provided with a transverse folding line (3), right and left side boards (5) (5) and a front board (6) are provided with a continuous perforation (4) whose both ends connect to the respective ends of the folding line (3). One side of the outer box (1) that is located lower from the folding line (3) and the perforation (4) is a main body (7), an the other side thereof that is upper from the folding line (3) and the perforation (4) is a lid member (8). The lid member (8) is attached to the main body (7) through the folding line (3) in a hinged matter whereby the lid member (8) can open and close from the main body (7). A tongue piece (11) is sectioned on the front board (6) by a folding line (9) which is a part of the perforation (4) and an arced perforation (10) which is formed on the main body (7) from the both ends of the folding line (9). An inner box (12) to be inserted into the hexahedron outer box (1) is formed with a cut line (13) at the place corresponding to the folding line (9) of the perforation (4). By inserting and engaging the tongue piece (11) into the cut line 13), the lid member (8) and the main body (7) can be locked.

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

公開実用 昭和60— 105324

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-105324

⑮ Int. Cl.<sup>4</sup>

B 65 D 5/54  
5/66

識別記号

庁内整理番号

6540-3E  
6540-3E

⑯ 公開 昭和60年(1985)7月18日

審査請求 有 (全 頁)

⑰ 考案の名称 仰開式容器の開封兼再ロック装置

⑱ 実 願 昭58-197585

⑲ 出 願 昭58(1983)12月22日

⑳ 考 案 者 大 久 保 八 郎 大阪市西淀川区野里3丁目4番3号

㉑ 出 願 人 近 畿 印 刷 株 式 会 社 大阪市西淀川区御幣島5丁目12番24号

㉒ 代 理 人 弁 理 士 秋 山 鳳 見 外2名

## 明 細 書

### 1. 考案の名称 仰開式容器の開封兼再ロック装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

密封状六面体外箱 1 の背面板 2 に横方向折目 3 を設け、該折目 3 の両端と連続し、左右側板 5、5 及び正面板 6 に亘つて一連のミシン目 4 を穿設し、該折目 3 及びミシン目 4 の下方を本体 7、同上方を蓋体 8 とし、折目 3 において蓋体 8 を本体 7 より仰開式に開蓋する仰開式容器において、正面板 6 のミシン目 4 上の一部を折目 9 とし、該折目 9 両端より本体 7 の正面板 6 上に円弧状ミシン目 10 を穿設して舌片 11 を区画し、前記六面体外箱 1 内に挿嵌し得る内箱 12 を別設内蔵し、前記ミシン目 4 の折目 9 と対峙する内箱 12 の位置に切目 13 を穿設したことを特徴とする仰開式容器の開封兼再ロック装置。

### 3. 考案の詳細な説明

本案は密封状六面体外箱の背面板に横方向折目を設け、該折目両端と連続し、左右側板及び正面板に亘る一連のミシン目を施し、該折目とミ

(1)

シン目により該外箱を本体及び蓋体に区分し、正面板の一連のミシン目上に折目を設け、該折目両端より円弧状ミシン目を本体の正面板上に穿設して舌片を蓋体に連設し、該円弧状ミシン目を開裂して本体と蓋体を開封し、蓋体を引き上げて一連のミシン目を開裂し、蓋体を前記折目において本体より仰開式に開蓋し、再施蓋時には舌片を予め前記外箱に内蔵した内箱の切目に挿嵌しロックする仰開式容器の開封兼再ロック装置に関するものである。

従来、円弧状ミシン目を開裂して開封装置とすること、及び舌片を切目に挿嵌してロック装置とすること自体は夫々公知であるが、円弧状ミシン目を開裂する開封装置としての舌片をそのまま外箱に内蔵した内箱の切目に挿嵌し、ロック装置とした仰開式容器の開封兼再ロック装置は未だ存在しない有様である。

今、ここに本案実施の一例を示す添付図面について詳説する。1は密封状六面体外箱で、第4図に示す如く背面板2、左右側板、5, 5及び

(2)

正面板 6 を連設し、右側板 5 側端の貼着片 1 4 を左側板 5 側端に貼着して筒状に成形し、左右側板 5, 5 の夫々上下端に連設した折曲片 1 5, 1 5, 1 5 を内方に折曲し、背面板 2 の上下端に連設した貼着片 1 6, 1 6 を更にその上に折曲し、該貼着片 1 6, 1 6 へ正面板 6 の上下端に連設した上面板 1 7 及び底面板 1 8 を夫々貼着し、密封状としたものである。3 は背面板 2 上方に設けた横方向折目で、4 は該折目 3 の両端より左右側板 5, 5 及び正面板 6 に亘つて穿設した一連のミシン目である。7 は前記外箱 1 の該折目 3 及びミシン目 4 よりの方下の本体であり、8 は同上方の蓋体である。9 は正面板 6 のミシン目 4 上の一部分にミシン目 4 の代わりに設けた折目である。1 0 は該折目 9 の両端から本体 7 方向に穿設した円弧状ミシン目で、一連のミシン目 4 と連続するものである。1 1 は折目 9 と円弧状ミシン目 1 0 で囲まれる舌片で、折目 9 により蓋体 8 と連設するものである。1 2 は内箱で、前記外箱 1 に挿嵌し得る

ものであり、本実施例においては第2図に示す如く二個設け、夫々顆粒状薬剤等のステイクバック19を収容し得る上端開放状とし、夫々外箱1の正、背面板6, 2と幅及び高さを稍小さくした内箱の夫々正、背面板20, 21、外箱1の左右側板5, 5と幅が $\frac{1}{2}$ で、高さが稍小さくした側板22, 22を第5図に示す如く連設し、左側端の貼着片23を右側端の側板22に貼着し、正、背面板20, 21の下端に底板24, 24を連設し、夫々の先端中央部に凹部25及び凸部26を成形し、該凹凸<sup>部</sup>25, 26を組み合わせ底部を閉塞したものである。13は切目で、夫々二つの内箱12の正、背面板20, 21の前記外箱1に挿嵌したときに正面板20と背面板21との区別をつけず、どちら向きに外箱に挿嵌した場合も折目9と符合するよう構成するものである。27は夫々四本の切目13よりの立ち上がり切目で、切目13の上端に弾力性を与えるものである。

本案は以上の如き構成で、これを組み立てるに

当つては、自動的あるいは手動的に前記の如く内箱 1 2 を組み立て、薬剤等のステックパック 1 9 を收容し、該内箱 1 2 を二つ重ねて、第 4 図に示す如く展開した外箱 1 上に載置し、公知の如く製函機等で内箱 1 2, 1 2 を内蔵して前記のように組み立て、第 1 図に示す如く完成するものである。

次に、これを使用するに当つては、外箱 1 の舌片 1 1 に指頭をかけ、上方の折目 9 において舌片 1 1 を内方に押し込み、円弧状ミシン目 1 0 を開裂して外箱 1 を開封し、そのまゝ折目 9 に指頭をかけ、蓋体 8 を折目 3 において本体 7 より仰開式に開蓋すればよいものである。また、再施蓋に当つては、蓋体 8 に折目 9 を介して連設された開封断片の舌片 1 1 を内箱 1 2 の正、背面板 2 0, 2 1 に穿設した切目 1 3 に挿嵌すれば、四本立ち上がり切目 2 7 より切目 1 3 上端が弾力を受け、舌片 1 1 をより緊密にロックするものである。而も舌片 1 1 の切目 1 3 への挿嵌に当つて、舌片 1 1 の基部に折目 9 が付設



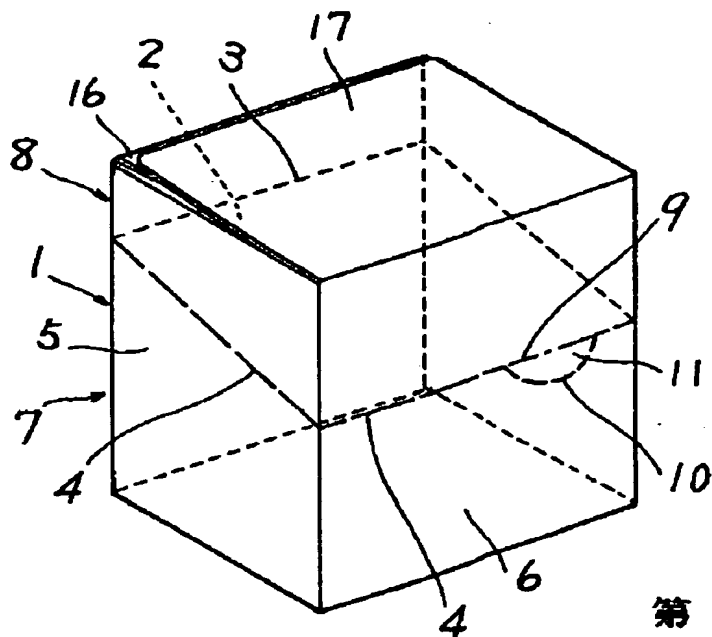
されているからより挿入し易くなるものである。  
 外箱1に内蔵した内箱は舌片11のための切目  
 13を穿設するためと、舌片11を押し込んで  
 円弧状ミシン目10を開裂し易く補強するため  
 のものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

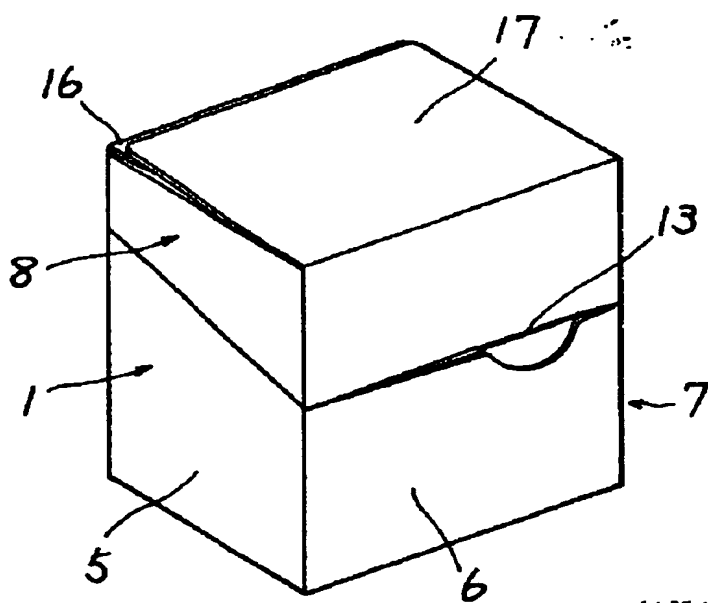
添付図面は本案実施の一例を示すものであり、  
 第1図は閉蓋時斜視図、第2図は開蓋時斜視図、  
 第3図は再施蓋時斜視図、第4図は外箱展開図、  
 第5図は内箱の展開図である。

1…密封状六面体外箱、2…背面板、3…横方  
 向折目、4…ミシン目、5, 5…左右側板、6  
 …正面板、7…本体、8…蓋体、9…折目、  
 10…円弧状ミシン目、11…舌片、12…内  
 箱、13…切目、14…貼着片、15…折曲片、  
 16…貼着片、17…上面板、18…底面板、  
 19…ステイックバック、20…正面板、21  
 …背面板、22…側板、23…貼着片、24…  
 底板、25…凹部、26…凸部、27…立ち上  
 がり切目。

第1図



第3図



253

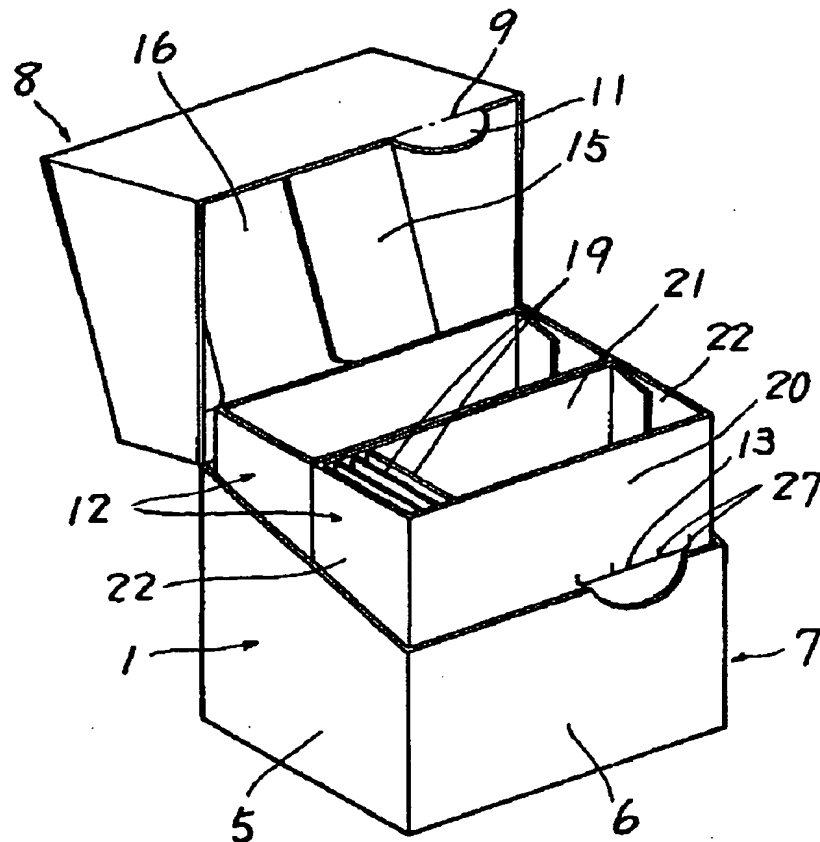
実開60-105324

出願人 近畿印刷株式会社

代理人 秋山 鳳 見

ほか2名

第 2 図

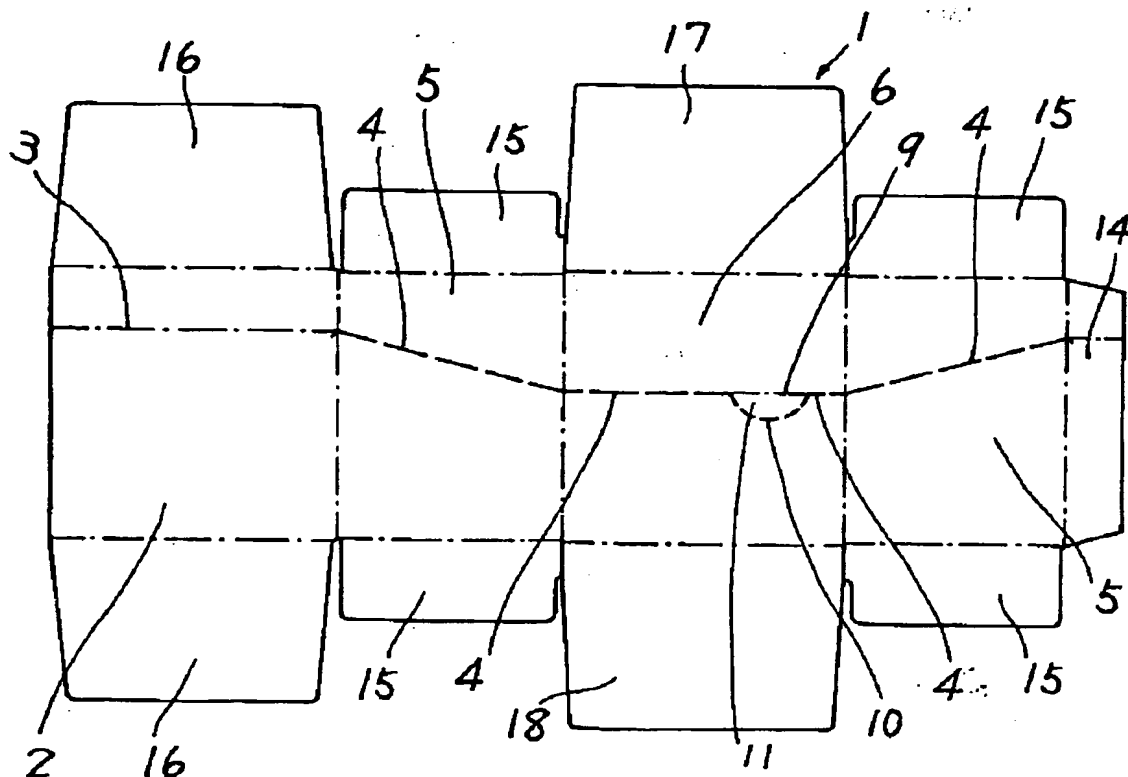


254

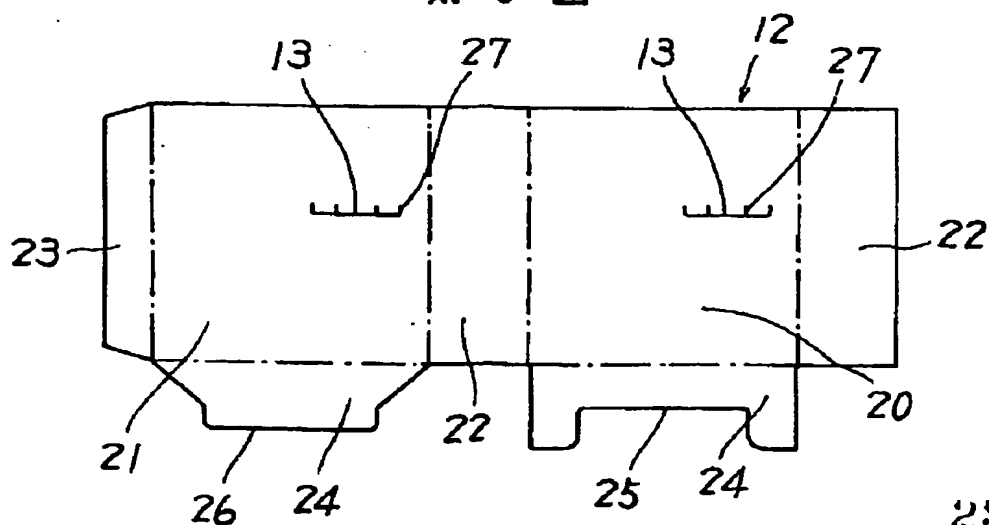
実開60-105324

出願人 近畿印刷株式会社  
代理人 秋 山 鳳 見  
ほか2名

第 4 図



第 5 図



255

出願人 近畿印刷株式会社  
代理人 秋 山 鳳 見  
昭和60-105324 ほか2名